

第2学年 英語科学習指導案

日 時：令和5年6月29日（木）
場 所：荒川区立第四峽田小学校
対 象：第2学年2組 24名
授業者：HRT 山口 めぐみ
AD 大洞 真由子
NEA Aliw Murakami

研究主題

自分の考えや思いを表現しようとする児童の育成
～『本当に伝えたいこと』を豊かに表現する言語活動を通して～

1 単元名 文ぐを買いに行こう（文房具）

2 単元の目標

オリジナルの筆箱を作るために、欲しい文房具について話したり、相手に伝わるように工夫しながら、オリジナルの筆箱について発表したりする。

3 関連する荒川区小学校英語科指針による領域別目標

話すこと [発表]	ウ 自分のことや身の回りの物について、絵や写真、具体物等を用いて簡単な言葉で話すようになる。
聞くこと	イ ゆっくりはっきりと話された際に、身近で簡単な言葉や基本的な表現の意味が分かるようになる。

4 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと [発表]	文房具の名前や A pencil, Please.などの表現を知り、話すことに慣れ親しんでいる。	相手に伝わるように自分の欲しい文房具を話している。 相手に伝わるように工夫しながら、自分のオリジナルの筆箱について発表している。	相手に伝わるように自分の文房具を話そうとしている。 相手に伝わるように工夫しながら、自分のオリジナルの筆箱について発表しようとしている。
聞くこと	文房具の名前や A pencil, Please.など、具体的な情報を聞き取る技能を身に付けている。	相手が伝えた文房具やオリジナルの筆箱について具体的な情報を聞き取っている。	相手が伝えた文房具やオリジナルの筆箱について具体的な情報を聞き取ろうとしている。

5 指導観

(1) 単元観

本単元では、文房具の言い方を知り、文房具の名前を聞いたり、話したりする活動を行う。児童は身の回りにあるものの英語を知ることに関心がある。繰り返し文房具を英語で話したり聞いたりさせ、定着させる。また、習得した英語を友達に伝えたり、全体で話したりする言語活動の場面を取り入れ、より生きた英語を実感できるようにしていく。文房具に関しての語句や表現は、初めて取り扱う。そのため、1つ1つの語句を丁寧に取り扱い、慣れ親しめるようにしていく。最終的には、自分のオリジナルの筆箱を作り、友達に紹介する言語活動を設定する。

(2) 児童観

本学級の児童は、1年生の時から週1時間の英語学習を継続しており、ABCソングやチャンツなど、楽しみながら歌ったり、唱えたりしている様子が見られる。また、言語活動も英語を用いて話してみようとする児童が多く、ゲームの要素を取り入れた活動には意欲的に参加する児童が多い。しかし、慣れないことに対して、英語を話さず物だけ交換したり、困って止まったりする児童も見られる。有効的な言語活動や充実したコミュニケーション活動を行うためには、最低限の知識を保証することが必要と考えられる。

英語以外では、朝学習でペアトークを行ったり、自分の意見を隣の人に説明したりする活動を取り入れている。

オリジナルの筆箱を作る活動で、「こんな筆箱を作りたい。」という意欲を高め、積極的に言語活動に取り組めるようにしていきたい。

(3) 教材観

低学年には教科書がないため、文房具の絵カードは「Let's try 2」から活用する。チャンツはオリジナルのものに必要な英単語をリズムよく合わせて発音し、習得させたい語句を身に付けさせる。

語句だけの学習にならず、生きた英語にするために「Here you are.」「Thank you.」のやりとりや、「Please」などの表現も丁寧に扱いたい。

【主な言語材料】

- ・ A pencil, please.
- ・ 文房具 (pencil, eraser, ruler, glue, scissors, colored pencils, pencil case, stapler)

6 研究主題に迫る手立て

(1) 『本当に伝えたいこと』を豊かにするための言語活動の工夫

単元の最後にはオリジナル筆箱を紹介する活動を行う。そのために、第3時では、オリジナル筆箱を作るための買い物をする活動を行う。その時の買い物は、単に文房具を順番に買っていくのではなく、「〇〇をするための筆箱だから、この文房具を買う。」というようにテーマを決めてから行う。1つのお店に1つの文房具ではなく、いくつかの文房具から選ばせるようにする。自分で必要な文房具を選んで買うという活動の中で、『本当に買いたい』文房具を買うというやりとりができるようにしていく。

(2) コミュニケーションを豊かにする工夫

・言語コミュニケーションの工夫

第4時のアクティビティにおいて、友達の発表に対してリアクションを取ることができるようにする。アクティビティの前にリアクションの練習をする。2年生の段階を考慮し「Cool.」「Wow!」「Nice.」「Me,too.」など比較的、口にしやすい表現を紹介する。適切なタイミングでリアクションを取れた児童を見取り、全体に広げる。

「Here you are.」と言われたら「Thank you.」と答える。「Hello.」と言われたら「Hello.」と返す。何かをお願いするときには、「please」を付けるなど、会話のやり取りに必要な表現方法を習得させる。

・非言語コミュニケーションの工夫

相手に分かりやすく伝えるために、Eye contact、Clear voice、Reactionを意識させる。デモンストレーションで、児童に見せる時に分かりやすく示して見せたり、できている児童のことを称賛したりして、児童自身が改善できるようにする。

(3) 教師の語り掛け、英語での指示の工夫について

明るくゆっくり話したり、大きくリアクションを取ったり、児童を称賛したりすることで、児童も楽しんでどんどん英語を話せる雰囲気を作る。ジェスチャーをしながら、短く指示をしたり児童の反応を見ながら言い直したりする等、確実に指示が伝わるようにする。

デモンストレーションをすることで、児童が今後どんな言語活動を行うのかイメージしやすくスムーズに活動できるようにする。

(4) AD,NEA との連携について

AD,NEA とは事前に授業内容について打ち合わせを行い、役割分担をしている。オリジナルの筆箱を作る前には、担任、AD,NEA それぞれが別々のテーマを決めて、筆箱にテーマを書くところを見せて、児童に各自のテーマを決めるという活動を分かりやすく伝える。

デモンストレーションでも、お店役とお客さん役を分担し、やりとりが分かりやすく伝わるようにする。

7 単元計画（全4時間扱い）

時	◆目標 ○主な学習内容・活動	※留意点 □評価
1	◆文房具の言い方を知り、慣れ親しむ ○Greeting ○Daily Questions ○Song and Chants：「ABC ソング」 ○Today's Lesson：（めあての確認と学習の見通し、文房具の語句を知る） ○Song and Chants：オリジナルチャンツ ○Activity：「ミッシングゲーム」 「キーワードゲーム」 ○振り返り ○Greeting	※単元終末の活動への見通しがもてるようにする。 本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認する。
2	◆欲しい文房具を伝える。 ○Greeting ○Daily Questions ○Song and Chants：「ABC ソング」 ○Today's Lesson：（めあての確認と学習の見通し、文房具の語句を知る。） ○Song and Chants：オリジナルチャンツ ○Activity：「ラッキーカード交換ゲーム」 （5人以上の友達と交換できるように伝える。） ○振り返り ○Greeting	【知識・技能】 文房具の言い方を理解し、文房具を話したり、聞いたりする。（話すこと、聞くこと） ※語句を定着させ、自信をもつことができるようにする。
3 本時	◆オリジナルの筆箱を作るために、欲しい文房具を聞いたり、話したりする。 ○Greeting ○Daily Questions ○Song and Chants：「ABC ソング」 ○Today's Lesson：（めあての確認と学習の見通し、文房具の語句を知る） ○Song and Chants：オリジナルチャンツ ○Activity：「shopping time」 ・自分の筆箱のテーマを決める。 ・店員とお客さんに分かれ、買い物をする。 ・買った文房具を筆箱に貼り付ける。 ○振り返り ○Greeting	※買い物の仕方をデモンストレーションし、見通しをもって取り組むことができるようにする。 【主体的に学習に取り組む態度】 相手に伝わるように工夫しながら、欲しい文房具を伝えようとしている。（話すこと[やり取り]） （行動観察、振り返りカード） 【思考・判断・表現】 友達の欲しい文房具を理解するために、話をよく聞いている。（聞くこと） （行動観察）
4	◆相手に伝わるように、オリジナルの筆箱を紹介する。 ○Greeting ○Daily Questions ○Song and Chants：「ABC ソング」 ○Today's Lesson：（めあての確認と学習の見通し、文房具の語句を知る） ○Song and Chants：オリジナルチャンツ ○Activity：「筆箱紹介」 ①4人グループになり、筆箱を紹介する。 ②よい発表の仕方を知る。 ③もう1度グループで紹介する。（他グループ） ○振り返り ○Greeting	※表情、アイコンタクト、ちょうどよい速さや声の大きさなどを確認し、児童が話すときに意識できるようにする。 【主体的に学習に取り組む態度】 相手に伝わるように工夫しながら、欲しい文房具を伝えようとしている。（話すこと[やり取り]） （行動観察） 【思考・判断・表現】 友達の欲しい文房具を理解するために、話をよく聞いている。（聞くこと） （行動観察）

8 評価規準にもとづいた具体的な評価計画

時	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認する。		
2	文房具の言い方を理解し、文房具を話したり、聞いたりする。(話すこと、聞くこと)		
3		友達の欲しい文房具を理解するために、話をよく聞いている。(聞くこと)	相手に伝わるように工夫しながら、欲しい文房具を伝えようとしている。(話すこと)
4		友達のオリジナル筆箱を理解するために、話をよく聞いている。(聞くこと)	相手に伝わるように工夫しながら、オリジナル筆箱について伝えようとしている。(話すこと)

9 本時（3／4）

（1）目標

- ・オリジナルの筆箱を作るために、欲しい文房具を聞いたり、話したりする。

（2）展開

学習の流れ	主な学習活動	主な英語表現・語句	※留意点 □評価
Greeting	○日直が挨拶をする。	Today's leader, come to the front.	
Daily Questions	○日直が質問し、全員が答える。	How's the weather today? What day is it today?	
Songs/ Chants	○歌「ABC ソング」	Let's sing. Are you ready? A to Z	
Today's Lesson	○今日のめあてを知る。	Today's goal is	※文房具の絵カードを掲示する。 ※NEA にしてもらおう。
	○オリジナルのふでばこをつくるために、文ぼうぐを買いに行こう。 ○文房具の語句の発音を確認する。		
Songs/ Chants	○オリジナルチャンツ	Let's sing. Are you ready?	

10 板書計画

Greeting Daily Questions Song Activity Review Goodbye Greeting	Today's goal オリジナルのふでばこをつくるために、文ぼうぐを買いに行こう。			
	文 房 具 の 絵 カ ー ド	買い物の 進め方		

11 協議会の記録

○指導講評 聖学院大学人文学部欧米文学科教授 東 仁美先生

- ・英語と日本語のバランス

拡大掲示物や、Power point は日本語でよい。教員の指示を英語とする。

- ・Activity について

どこに買いに行けばよいのか分からない児童も、教員たちの机間指導で対応ができていた。買い物をするという目的がはっきりしていたので、2年生でも実践可能であった。

- ・中間評価について

中間評価の流れがよかった。Clear voice などの評価の観点は、掲示しておくといよい。また、誰を中間評価で取り上げるのか、AD,NEA で協議しておくといよい。また、言えなかったところを振り返ったり、補強する時間に充てたりしてもよい。後半の買い物を豊かにするために、時間の使い方を工夫する必要がある。

- ・指導案表記の仕方について

○A pencil, please. ×A pencil,please.

コンマの後のスペースが必要。

○Ok, a pencil. Here you are. ×Ok, a pencil, here you are.

文を分ける。

○You're welcome. Bye. ×You're welcome.Bye.

コンマの後のスペースが必要。

○How was today's class? ×How about a class of today?

上記の表現が好ましい。

- ・児童に指示する英語表現について

○Put your pencil case on the desk. →Bye-bye, pencil case.

○紙を半分に折ってください。→Please fold the paper in half.

○名札を見て確認してください。→Please look at (check)your name tag.

○こんな風に→like this

○貼る→paste

1 2 成果と課題

【成果】

- ・テーマを設定することで、児童の意欲につながった。
- ・AD,NEA,HRT の役割分担ができていた。
- ・英語の指示にすぐ反応した児童を取り上げることで、他の児童も指示を理解することができた。
- ・動作と共に指示を行うことで、児童が指示を理解していた。

【課題】

- ・テーマが教師の意図とずれていた児童がいたので工夫が必要である。
- ・ゲームの説明の時間短縮をするために、掲示物をもっと効果的に使っていく。
- ・評価の観点は事前に掲示しておく。
- ・中間評価で誰を取り上げるか、AD,NEA,HRT でよく協議しておく。